

ヨーロッパ市民社会の分断と統合 — フランス新聞社襲撃事件の背景と余波 —

2015年2月15日(日) 15:00-17:00 (開場14:40)

パリで1月に起きた新聞社襲撃事件はフランス社会を震撼させ、表現の自由と寛容、宗教、テロ、疎外といった多様な問題を提起する事態へと発展した。このシンポジウムでは、ヨーロッパのみならず世界的に反響をもたらしたこの事件とそれに続く展開が映し出したヨーロッパ市民社会の動揺を、社会的な構造背景に注目する形で考える。

報告：国末 憲人氏 (朝日新聞社論説委員)
討論：宮島 喬氏 (お茶の水女子大学名誉教授)
秦泉寺 友紀氏 (和洋女子大学准教授)
若松 邦弘氏 (東京外国語大学教授)(兼 司会)

会場：東京外国語大学 府中キャンパス 研究講義棟1階 115教室
(府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線多磨駅下車5分)

※どなたでも予約不要で入場できます(無料)

■主催：東京外国語大学国際関係研究所
■問い合わせ iir-sympo@tufs.ac.jp

